

No.018 (不定期刊)

東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社。本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職

“Great Wall” Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～



招かれざる隣人

「ちょっとうるさいので、静かにしてくれませんか？」——。わざとキツめに言ってみた。中国国内線の機内。隣席の女性がスマホでアクション映画を見始めた。音はダダ漏れ。「ドキューン！バキューン！」という映画の爆音が機内に響きわたる。イヤホンはしていない。最初っから他の人のことなどお構いなしだ。私の“抗議”を受けて、さすがにバツが悪いと思ったのだろうか、あわてて音量を下げ出した。やれやれ、である。

★ ★ ★ ★ ★

このような光景、中国では別に珍しいことではない。バスや地下鉄、高速鉄道などの中で大声で電話するのは当たり前。他の人に聞かれていても気にしない。スマホやタブレットではゲームや動画をイヤホンなしで楽しんでいる。迫力あるシーンを豪快に見たいという気持ちは分からなくもない。ただ、何も混雑する車内で他の乗客を巻き込まなくても……。

先日訪れた日清戦争（中国語では「甲午戦争」）の記念館。展示物からは厳粛な雰囲気が出されていたが、その中でいい年をした来館者がおしゃべりに夢中だった。多数配置された監視役の職員が「静粛に！」と注意を繰り返す。まさにマナーの欠如。ここまでやらないとダメなのだろうか……。

さて、当の中国人に、このような迷惑行為の話題を振ってみると、一様に「辟易している」という答えが返ってきた。それでは、運悪く、スマホ大音量の人の隣に座ってしまった場合はどうするのか。この質問への答えも大体同じで「仕方ない。我慢する」というもの。抗議したところでムダ。逆ギ



一見、整然とした地下鉄車内でも、様々な音が結構な音量で聞こえてくる

レされて、もっと面倒なことになるかもしれない。泣き寝入り状態で目的地まで耐えるしかない。この点はなぜか日本人に似ている。つつい口が出てしまう私のような“武闘派”は少数のようだ。

ただ、表立って文句は言わないものの、迷惑行為者に対する冷たい見方は増えている。「大音量で聞くななんて、今どき非常識」という視線を感じることも多い。その光景をスマホで録画し、SNSにアップする人たちもいる。「恥を知れ！」というところだろうか。少なくとも心の中ではマナー向上を求めている人が多いようだ。

そういえば、中国系エアラインの着陸後の機内アナウンスで「携帯電話の使用はできませんが、周りの人の迷惑になりますので、通話はお控えください」という言葉を聞くようになった。中国ではかなり画期的な“配慮要請”で、正直驚いた。国際線だけかと思ったら、国内線でもきちんとやっている。全国民でマナー向上に動き出している証左だろうか。そんなアナウンスはお構いなしに、大声で通話を始める乗客もまだ多数いるのだけれど。

★ ★ ★

さて、冒頭の女性。私の抗議もむなしく、30分ほど経った頃にはまた大音量で映画を見始めました。「懲りない人だな……」と思い、もう一回声をかけようとしたその瞬間、客室乗務員が機先を制して彼女に一言。「お客様、イヤホンがスマホにきちんと装着されていませんよ。全身の力が抜け、ズッコケてしまいました。そんな問題もあつたんですか……！？ 次回は「イヤホンを装着してあげましょうか？」という“提案型抗議”を試みたいと思います。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号
 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入

外国証券等について

・外国証券は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

① 国内株式の手数料等およびリスクについて

・国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2420%（税込み）、最低3,240円（税込み）（売却約定代金が3,240円未満の場合、約定代金相当額）の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 外国株式等の手数料およびリスクについて

・外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8640%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い仕切価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い仕切価格との差がそれぞれ原則として2.75%（手数料相当額）となるように設定したものです。当該仕切価格には手数料相当額が含まれています。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料を掲載後、掲載された銘柄を対象としたEB等を東洋証券（株）が販売する可能性があります。

東洋証券（株）および同関連会社、またその役職員はこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券（株）が各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券（株）は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

なお、東洋証券（株）および同関連会社の役職員またはその家族がこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

この資料の著作権は東洋証券（株）に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

東洋証券株式会社

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1
 TEL 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2019年6月3日
 審査部審査済